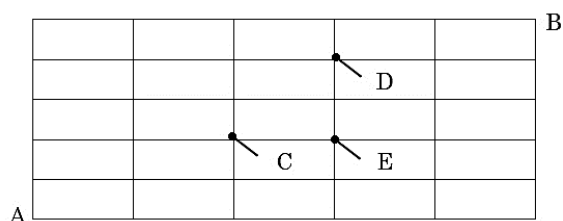


1. 下の図のように、東西に走る道路と南北に走る道路がある。

(1) 南西の角 A から北東の角 B にいたる最短経路は何通りあるか。【4 点】

(2) (1) の中で C 地点を通るものは何通りあるか。【3 点】

(3) (1) の中で C 地点と D 地点の両方を通るものは何通りあるか。【3 点】



2. マフィンに合わせて 40 個作るとき、中に入れる果物をりんご、オレンジ、ブルーベリー、バナナの 4 種類から選びます。【各 5 点】

(1) 1 つも作らない果物があってもいい場合は全部で何通りの作り方がありますか。

(2) どの果物も最低 1 つは作らなければならないとした場合、全部で何通りの作り方がありますか。

< Challenge1! > 【各 + 5 点】

上の 1. (1) の中で C 地点かまたは E 地点を通るものは何通りあるか。

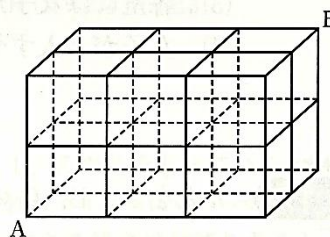
また、C 地点かまたは D 地点かまたは E 地点を通るものは何通りあるか。

< Challenge2!! > 【各 + 5 点】

右の図のように、1 辺が 1 の立方体が 12 個積まれた直方体がある。直方体の頂点 A から頂点 B まで、立方体の辺のみ (見えない辺も含む) を通って最短距離で進むとする。

(1) 進み方は全部で何通りあるか。

(2) 直方体の表面だけを通る進み方は何通りあるか。



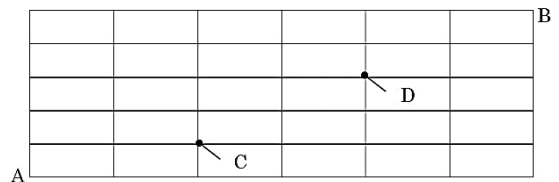
類題

1. 右の図のように、東西に走る道路と南北に走る道路がある。

(1) 南西の角 A から北東の角 B にいたる最短経路は何通りあるか。

(2) (1) の中で C 地点を通るものは何通りあるか。

(3) (1) の中で C 地点と D 地点の両方を通るものは何通りあるか。



2. マフィンに合わせて 30 個作るとき、中に入れる果物をりんご、オレンジ、ブルーベリー、バナナ、さらにフィグ（イチジク）の 5 種類から選びます。

(1) 1 つも作らない果物があってもいい場合は全部で何通りの作り方がありますか。

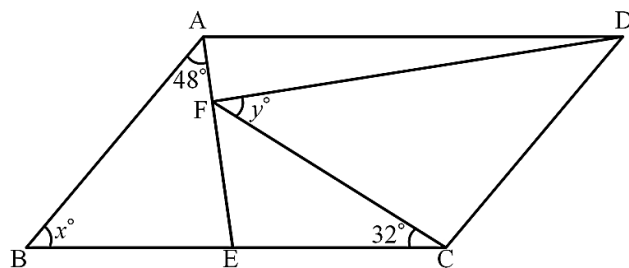
(2) どの果物も最低 1 つは作らなければならないとした場合、全部で何通りの作り方がありますか。

出典：2014 年度 ラ・サール高校

下図のような平行四辺形 ABCD において、辺 BC 上に $AE = EC$ となるように点 E をとり、さらに AE 上に $AB = CF$ となる点 F をとると、 $\angle BAE = 48^\circ$ 、 $\angle ECF = 32^\circ$ になった。図の x 、 y の値を求めよ。

<図形クイズ>

(各 + 3 点)



⑪ ツメを切る	⑨ ゴウガンな態度	⑦ シュヨウの手術	⑤ 本のカンシュウをする	③ 大型のセンタクキ	① オクソクを述べる
⑫ 時間をツブス	⑩ キンシュを切除する	⑧ アクヘキを改める	⑥ 友達にアヤマル	④ オボッちゃん	② オダヤカな氣候

※配点 ①～⑫ 各 0.5 点

得点

中三国語 漢字テスト 21 氏名

次の文のカタカナを漢字に直せ。(送り仮名もかく)

高校数学

チェックテスト 6/21 解答

1. 最短経路

$$(1) \frac{10!}{5! \cdot 5!} = \underline{252 \text{ 通り}} \text{④} \quad (2) \frac{4!}{2! \cdot 2!} \times \frac{6!}{3! \cdot 3!} = \underline{120 \text{ 通り}} \text{③}$$

$$(3) \frac{4!}{2! \cdot 2!} \times \frac{3!}{1! \cdot 2!} \times \frac{3!}{2! \cdot 1!} = \underline{54 \text{ 通り}} \text{③}$$

2. 重複組合せ

$$(1) \frac{43!}{40! \cdot 3!} = \underline{12341 \text{ 通り}} \text{⑤} \quad (2) \frac{39!}{36! \cdot 3!} = \underline{9139 \text{ 通り}} \text{⑤}$$

<Challenge1!> (+5点ずつ)

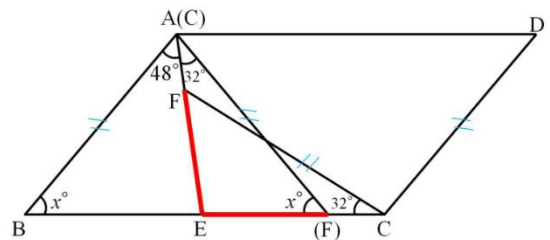
C地点またはE地点…160通り

C地点またはD地点またはE地点…199通り

<Challenge2!!> (+5点ずつ)

(1) 210通り (2) 102通り

Point AE=ECを利用して図形を切り貼りする!



<図形クイズ> (+3点ずつ)

$$x=50^\circ, y=41^\circ$$

類題解答

1. 最短経路

$$(1) \frac{11!}{6! \cdot 5!} = 462 \text{ 通り}$$

$$(2) \frac{3!}{2! \cdot 1!} \times \frac{8!}{4! \cdot 4!} = 210 \text{ 通り}$$

$$(3) \frac{3!}{2! \cdot 1!} \times \frac{4!}{2! \cdot 2!} \times \frac{4!}{2! \cdot 2!} = 108 \text{ 通り}$$

2. 重複組合せ

$$(1) \frac{34!}{30! \cdot 4!} = 46376 \text{ 通り}$$

$$(2) \frac{29!}{25! \cdot 4!} = 23751 \text{ 通り}$$

⑪ ツメを切る	⑨ ゴウガンな態度	⑦ シユヨウの手術	⑤ 本のカンシユウをする	③ 大型のセンタクキ	① オクソクを述べる
爪	傲岸	腫瘍	監修	洗濯機	憶測
⑫ 時間をツブス	⑩ キンシユを切除する	⑧ アクヘキを改める	⑥ 友達にアヤマル	④ オボツちゃん	② オダヤカな気候
潰す	筋腫	悪癖	謝る	お坊	穏やか

<Challenge1!> (+5点ずつ)

$$\begin{aligned}
 \textcircled{C} \text{を通る} &= 120 \text{通り} & \textcircled{CNE} &= \frac{4!}{2!2!} \times 1 \times \frac{5!}{2!3!} = 60 \text{通り} \\
 \textcircled{E} \text{を通る} &= \frac{5!}{2!2!} \times \frac{5!}{2!3!} = 100 \text{通り} & \textcircled{CUE} &= \textcircled{C} + \textcircled{E} - \textcircled{CNE} = 120 + 100 - 60 = 160 \text{通り} \\
 \textcircled{D} &= \frac{7!}{4!2!} \times \frac{3!}{2!1!} = 105 \text{通り} & \textcircled{CUDUE} &= \textcircled{C} + \textcircled{D} + \textcircled{E} \\
 & & & - (\textcircled{CAD} + \textcircled{CNE} + \textcircled{END}) \\
 & & & + \textcircled{CNEAD} \\
 & & & = (20 + 105 + 100 - (55 + 60 + 30)) + 18 \\
 & & & = 199 \text{通り} \quad \textcircled{45} \\
 \textcircled{CAD} &= 54 \text{通り} \\
 \textcircled{END} &= \frac{5!}{3!2!} \times \frac{3!}{2!1!} = 30 \text{通り} \\
 \textcircled{CNEAD} &= \frac{4!}{2!2!} \times 1 \times \frac{3!}{2!1!} = 18 \text{通り}
 \end{aligned}$$

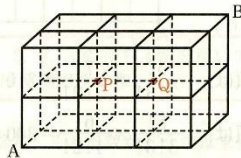
<Challenge2!!> (+5点ずつ)

- <考え方> (1) $\rightarrow$ を3個, $\uparrow$ を2個, $\nearrow$ を2個並べる順列と考える。
 (2) 全部の進み方から、直方体の内部を通る進み方を引いて求める。

- (1) 立方体の1辺を右に進むことを $\rightarrow$, 上に進むことを $\uparrow$, 奥に進むことを $\nearrow$ で表すとすると、頂点Aから頂点Bへの道順は、 $\rightarrow$ を3個, $\uparrow$ を2個, $\nearrow$ を2個並べる並べ方の数(同じものを含む順列)と一致する。

よって、求める道順は、 $\frac{7!}{3!2!2!} = 210$ (通り)

- (2) (1)で求めた、頂点Aから頂点Bまでの道順の数から、右の図の直方体の内部にある立方体の頂点P, または頂点Qを通る道順の数を引けばよい。



- (i) 頂点Aから点Pを通って頂点Bに進む道順の数を求める。

AからPまでの進み方は、 $3! = 6$ (通り)

PからBまでの進み方は、 $\frac{4!}{2!} = 12$ (通り)

よって、点Pを通る道順は、 $6 \times 12 = 72$ (通り)

- (ii) 頂点Aから点Qを通って頂点Bに進む道順の数を求める。

(i)と同様の考え方で、 $\frac{4!}{2!} \times 3! = 72$ (通り)

- (iii) 頂点Aから点Pと点Qの両方を通って頂点Bに進む道順の数を求める。

$3! \times 1 \times 3! = 36$ (通り)

よって、求める進み方は、

$210 - (72 + 72 - 36) = 102$ (通り)

◀ $\rightarrow$ を1個, $\uparrow$ を1個, $\nearrow$ を1個の並べ方の数

◀ $\rightarrow$ を2個, $\uparrow$ を1個, $\nearrow$ を1個の並べ方の数

◀ $210 - \{(i) + (ii) - (iii)\}$